

長野県革新懇ニュース

2021年1月号
発行日 1月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971

260

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

==== 今号の主な記事 =====

- 1面 信大政治参加推進コミュニティ VOTERS インタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」村山隆さん
- 3面 北信で市民連合結成 花岡邦明さん
年頭にあって 山口光昭さん 読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「おくこの世話には・・・」窪島誠一郎さん
写真で辿る信州と戦争「小布施新生病院(1)」北原高子さん
映画評論『オフィシャル・シークレット』内山到さん

長野県革新懇

検索



信大政治参加推進コミュニティ VOTERS の皆さん
前列中央 田村大地さん。1998年生まれ。福岡県出身。
信州大学医学部医学科3年。VOTERS 初代代表。
前列右 内田佑香さん。2000年生まれ。長野県出身。
信州大学経済学部2年生。VOTERS 共同代表。

政治のハードルを低くし

身近な存在にしたい

たむら だいち さん うちだ ゆうか さん
田村 大地 さん 内田 佑香 さん

(信大政治参加推進コミュニティ VOTERS)

政治を身近に
受け止めてほしかった

Q 信大政治参加推進コミュニティ VOTERS を始めたきっかけをお聞かせ下さい。

◆田村 僕が2019年の5月に立ち上げました。僕の問題意識としては、大学に入っても政治のことに関わることがなかなかできないと思っていました。参議院選挙が7月に迫っていたので、学生が選挙について考える、政治について考える、そういう場を設けられればいい、そして、学生の投票率を上げるような活動がしたいという思いがありました。学生の中では政治は遠い問題だとか、ちよっと避けておきたいかと思う人もいますが、そうではなく

で、自分たちの身近にある問題だということで受けとめてもらいたいと思って、いろいろ活動してきました。

◆田村 僕は2年生で、医学部の教養課程カリキュラムは1年生の時に終わっていました。1年生の時に終わってしまいましたが、キャンパスが一緒なので、他の学部の人たちとも関わりがあったことから、あまり気にせず松本キャンパスの全学部生に呼びかけて取り組みました。今はコロナでできませんが、当時はちゃんと集まって活動するのが当たり前でしたので、キャンパスでビラを配ったり、教室で宣伝させてもらって、興味ある人はぜひ発足会に来て下さいと呼びかけました。

注目を集めた 公開政党討論会

Q 学生の反応はどうでしたか？

◆田村 準備活動は4月位から始めたのですが、最初はなかなか厳しいものがありました。先行きの見えない状態だと困るし、そういうのは僕も嫌だったので、知り合いに声をかけて、気の知れた友人数人は来てくれるという前提で、もっと人を集めようというところでやりましたけど、基本は僕一人で、食堂前でチラシを配ったり、掲示板に貼ったり、先生の協力が得られる教室に行つて宣伝をさせてもらったりしました。でも、最初はなかなかで、何百枚もチラシを配っても準備会には数人しかこない状態でした。それでも発足時には10人となり、今は15人のメンバーです。本当は4月に発足した

かったんですが、遅れ遅れになりました。5月に立ち上げをして、1ヶ月ぐらいのところで最初の企画として学習会をやることにしました。まず選挙ってどうやるのとか、なんで選挙に行かないかなんかのとか、憲法学の先生をお呼びして実施しました。

その後、7政党の公開討論会をやったんですが、これがけっこう目玉になりました。各政党の代表をお招きして、大学の講義室で行いました。各党に電話をして出席を依頼したところ、予想以上の反応で、各党の国会議員や主要な方々にお出でいただいて、こちらも非常にびっくりしました。当時、各政党が参加する公開討論会は開かれておらず、しかも学生が主催する形だったものだから、新聞社やTV局にも注目していただきました。そのため私たちに非常にプレッシャーがかかってきました。学生を集めるのにけっこう奔走しました。

議員が学生の質問に 直接答えた

Q 討論会の感想はどうですか？

◆内田 けっこう集まってくれたと思います。私はビラ配りをしましたが、当初はあまり反応がなかったし、討論会前の学習会ではすごく人数が少なかったんで、討論会に来てくれるかと不安でしたが、学習会の数倍来てくれたので、私としては凄く感動的でした。また、別の政党の方たちが同じ壇上で学生の質問に答えていたことが非常に印象的でした。私は今までの人生

7/21(日)は参議院選挙。
「何を基準に選んだらいいかわからない」
「選挙の結果で、私たちの生活はどう変わるの？」
そんなモヤモヤを、みんなで一緒に解決しませんか？

VOTERS 企画 第2弾
2019参議院選挙
公開討論会
7/3(水) 18:30~20:30
参加費無料
信大生・教員・市民の方ならどなたでも参加できます！

各党参加者(予定)
自由民主党: 後藤茂之氏(衆議院議員)
公明党: 太田昌孝氏(衆議院議員)
立憲民主党: 杉尾秀哉氏(参議院議員)
国民民主党: 羽田雄一郎氏(参議院議員・立候補予定者)
日本共産党: 武田良介氏(参議院議員)
社会民主党: 中川博司氏(衆議院議員)
日本維新の会: 手塚大輔氏

信州大学 松本キャンパス
20講義室にて
(全学教育機構)

信州大学・信濃毎日新聞社・(公社)日本青年会議所北信信濃地区長野ブロック協議会・(一社)松本青年会議所

VOTERSとは？
私たちは、信州大学の学生として、学生の政治参加を促進するために今年発足しました。
今年夏の参議院選挙に向けて、大学生が政治に参加しやすい仕組み作りを目指しています。

連絡先: 医学部医学科2年 田村 メール: shindai.sankyo2019@gmail.com

多くが利用した 不在者投票ブース

Q 不在者投票ブースを設置されたことですが・・・

◆田村 不在者投票ブースは、選挙の告示直後から1週間、大学が開いている平日5日間に設置しました。全体で90人程の学生が利用してくれました。図書館の一番目につくやすい場所を1週間貸していただいて、松本市に住民票がない人はこちらで投票前の手続きができますと呼び掛けて、みんな友達にも声をかけてくださいというので、人集めをしました。ブースに来てくれた人の多くは、県外なので投票はできないと思っていたけど、面倒くさいからやらないという人もいました。こういうことをやってくられて、手続きがちょっと楽になったと言ってくれる人もいて、非常にいい企画だったと思います。ちなみに僕らが調査したデータでは、全体で95%の人が松本市には住民票がありませんでした。

【2面に続く】